

令和元年度 第2回公民館運営審議会会議録

日 時 令和元年7月31日(水)
午前10時30分から正午まで
場 所 市役所東館 3階 教育委員会室
出席者 神谷委員、中野委員、**奥**住委員、三輪委員、都築委員、斎藤委員、
黒田委員、小崎委員
事務局 教育長、部長、生涯学習課長、担当係長、担当

司会進行 課長

- 1 委員長あいさつ
- 2 教育長あいさつ

委員長が議長となり議題の進行を行う

3 議題

(1) 令和元年度後期公民館事業について、事務局より説明

委員 陶芸教室の1回の時間はどれくらいか。
事務局 全3回講座で、成形の工程によって時間が異なる。第1回は粘土から成形をする工程で9時30分から最長14時まで、第2回は施釉で9時30分から12時まで、第3回は完成品の受け取り。コーヒーカップ作りの講座は、第3回にコーヒーのいれ方講座を行う。
委員 陶芸教室の4コースはどんな風に分かれているか。
事務局 およそ1ヶ月おきにコースが設定されている。初級・中級・上級などの設定はなく、日程的に参加できる範囲を増やしている。

(2) 令和2年度公民館事業について事務局より説明

委員 アドラー心理学は幅広いが、具体的にはどのような内容か。
事務局 子育て世代にむけた、子どもへの声かけ・励ましなどを予定している。
委員 ・題名を「アドラー心理学から学ぶ〇〇」とし、焦点を絞ってやってほしい。夜回り先生の話はテレビでもやっているが、生で聞くとまた受ける印象がちがうと思う。楽しい企画が多い。
・「豊明の災害の歴史」は「豊明の災害と防災の歴史」にしたほうがよい。災害の悲惨さよりも、防災にスポットを当てるのはどうか。
・「語学」講座は、近隣の国の語学を少しでも学んでもらえば理解が進む

のではないか。英語よりも韓国や中国など近隣諸国を中心にするるとよい。語学を通じて、その国の考え方や傾向を学べればよい。

・A I も最新の話題であるが、どのように扱うか難しい。

事務局
委員 A I の領域もいくつかあり、どの切り口から企画するか検討中である。
「A I」そのものの発展より、人間がどう付き合っていくかを学ぶのがよい。一説には仕事の半分はA I に奪われ、失業するとまで言われている。講師次第である。

事務局
委員 A I の講師の案はあるか。
家電製品にA I がどのように使われているかのテーマなどは子どもも大人も興味を持って聞ける。

委員
・自動車の制御などの説明など、トヨタの講師を呼ぶのはどうか。
・私たちの働き方や介護のことなど、私たちの将来にもかかわってくる。
「A I」のことは抽象的ではなく、具体的に豊明市内にある企業にどこまで浸透しているかなど、身近な内容だとよい。商工会に聞くと人工知能などの情報が得られると思う。スマート農業など、普通の市民が気づいていないところにA I が使われている。

委員
・来年はオリンピックがあり話題である。近い時代のオリンピック開催国（ロンドン等）からみるオリンピック、その都市の在り方や開催の裏話などもスポーツの話題としておもしろそう。

委員
・万博も大阪で行われるので、万博の歴史、成り立ちなども楽しそう。
・夜回り先生の講座は小中学校の先生にも聞いてもらいたい。学校を卒業してからの子どもたちがどんなところで困っているかの話が聞きたい。
・スポーツの話は子ども向けのものだけでなく、高齢になってからの生涯スポーツについての話もよいのではないか。

委員長
講師によってスポットを当てる箇所が違うと思うが、ターゲットに向けた話が聞けるように、事務局には期待している。オリンピックや万博の歴史的な話や開催国の裏側など色んなテーマがあると思うが、企画を楽しみにしている。夜回り先生の話も、生で聞くと全然受け取り方が違うので、先生にもぜひ聞いてほしいと思う。

（3）令和元年度公民館まつりについて事務局より説明

委員
公民館まつりの入口付近に、公民館サークル紹介ポスターの展示があるが展示数が少ない。公民館まつり参加団体と公民館サークルに登録しているサークル全員に展示してもらえよう声かけをしてはどうか。

事務局
委員長 現在、ポスターの提出は任意だが、現状を伝えながら声かけをしていく。
・陶芸教室で作ったコーヒーカップを、公民館まつりでコーヒーの感想付きで作品展示してはどうか。

・この会議で出た意見などを公民館サークル代表者会議で話し合い、前向きに取り入れていただいてありがたいと思う。これからも継続して進めていただきたい。

(4) その他 公民館サークル登録の現状について事務局より説明

- 委員 ・以前、公民館サークルに2つ登録しており、公民館まつりにも参加していた。耐震工事で一時的に場所が借りられなくなったときに限られた場所に人が集中した結果、定例日に開催できなくなり参加できない人から不満が挙がったことがある。最初はサークル育成のため、公民館サークルに所属すると公民館が無料貸出しだったが、今は有料で空調代も高くメリットがなくなっている。15人の会費では公民館は料金が高くて借りられないため、他の場所に移った。年次更新の書類の作成、会場の料金、他団体ともめたことなどを理由に公民館サークルを退会した。もう1つのサークルは高齢化と就労により人が減少して解散したという経緯がある。そのような現状なので、新規に登録するのは難しいと思う。
- 委員 ・公民館サークルも、新しい人たちで新規に立ち上げないと既存のサークルには入りづらい。
- 委員 市民大学ひまわりの講座の部屋の予約は、既存のサークルの定例日を避けて予定を入れるように配慮している。
- 委員 果たして、公民館サークルの数が増えることが目的なのだろうか。本来、サークル活動は自立してやるのが望ましい。それが難しいので公民館サークルとして補助・支援している。数が減って自立していくことは良いことであり、もともとサークルを育てる支援が目的であるため、公民館サークルが減ったことについて悲観する必要はない。公民館サークルの考え方も変えていかなくてはいけない。
- 教育長 公民館サークルが消滅しなければ良い。
- 委員 サークル登録数が減少しても、また大きな流れで見れば増えてくるかもしれない。神経質に考えなくてもよい。
- 委員 所属しているサークルは、最初は保健センターで活動していて、その後市民協働課、社会福祉協議会へ活動場所が移った。サークルは活動する拠点によって登録先を決めている可能性もある。
- 委員 ・合唱団として公民館サークルと別の1団体へ登録していたが、現在は公民館サークルのみで活動している。発表の場は、公民館まつりや市民フェスティバル、独自の演奏会を行っている。公民館まつりは他のサークルとの交流にメリットを見出している。サークルごとにメリットを見つけて登録しているのではないか。公民館まつりは、勤労会館サークルにも声かけするのはどうか。

・ 勤労会館が使えなくなるので、より会場の競合が激化するのではないか。ピアノなどの楽器が必要な団体は、会場の確保が大変になる可能性がある。

教育長 時代の移り変わりにより公民館サークルの役割もかわる。あまり神経質にならずに今やっているサークル活動を楽しんでいただきたい。

委員 公民館まつりの開催要項に参加団体は公民館サークルとあるが、公民館は公民館サークルのみが使っているのではない。公民館まつりの目的を公民館サークル活動に限らず、公民館に集う人たちの年に一回のお祭にすればよいのではないか。公民館利用者などに幅を広げることを検討してほしい。

委員長 一気に変えることは出来ないかもしれないが、時間をかけて検討してほしい。公民館サークルが減っていくことは仕方のないことだ。せっかく一生懸命活動しているサークルがあるなら、発表の場があるのは必要なことである。

委員長 他に何かありますか。

無いようですのでこれにて審議会を終了します。